

神戸市営地下鉄の民営化と阪急電鉄などへの 事業売却を神戸志民党が政策提言！

大阪市営地下鉄の民営化が議会で承認され進む中、神戸市においても地域政党・神戸志民党が神戸市営地下鉄の民営化と阪急電鉄などへの事業売却を提言した。平均給与が約 1000 万円前後という高コスト体質にも関わらず、利益率 35% の高収益事業である西神・山手線。ところが運賃は高止まりしたままでホームドアや駅ナカ事業、乗客サービスが拡充されなかったのは海岸線の赤字補填に使われていたため。西神・山手線の事業売却により、海岸線の市債償還と金利負担を無くせば海岸線も黒字化でき、阪急電鉄などとの相互直通乗り入れが進む。この結果、神戸が大阪のベッドタウンとしての機能も強化し、交流人口増加による都市の活性化につながる。併せて、民営化による地下鉄サービスの向上のほか、沿線開発を民間主導で進めることも提言。

売却額は 1800 億円～2000 億円を想定している。

記者会見の詳細内容は、<https://youtu.be/rcBgamBUtCk>

また、ピーク時から 200 万人減の震災復興の光 「神戸ルミナリエ」の改善策についても言及！

阪神大震災の年末に始まった神戸ルミナリエは、震災で失われた多くの方の鎮魂と神戸の復興を目指すイベントですが、2004 年の 538 万人をピークに来場者は減少し、2016 年には 325 万人とピーク時から 200 万人も減少。慢性的な財政赤字やイベント周辺の商店からのクレームにより今年の光の回廊は 190m に短縮されている。

震災から 21 年が経ち、毎年ルミナリエの意義が問われていますが、震災の犠牲者の鎮魂と復興の夢、そして県外の方に震災を忘れて頂かないために、これまでの問題点を解消し、多くの方に来場していただくために、神戸志民党はルミナリエを開催場所の変更と期間延長の提案をしました。

新しい開催場所は、新神戸駅から三宮交差点を經由し東遊園地までのフラワー

ロードです。フラワーロードの片側車線に光の回廊を設置し、その周辺には地元飲食店に限り屋台営業を許可。この場所は、神戸まつりの開催場所として使用されており、イベント運営に関する実績は十分、また神戸の玄関口である新神戸駅や三宮駅を降りて海まで続く光の回廊を見渡せることとなります。

これにより、過去最高を超える550万人来場者まで増加させたいと考えています。

(改善案)

step1 場所を三宮から東遊園地までのフラワーロードに変更

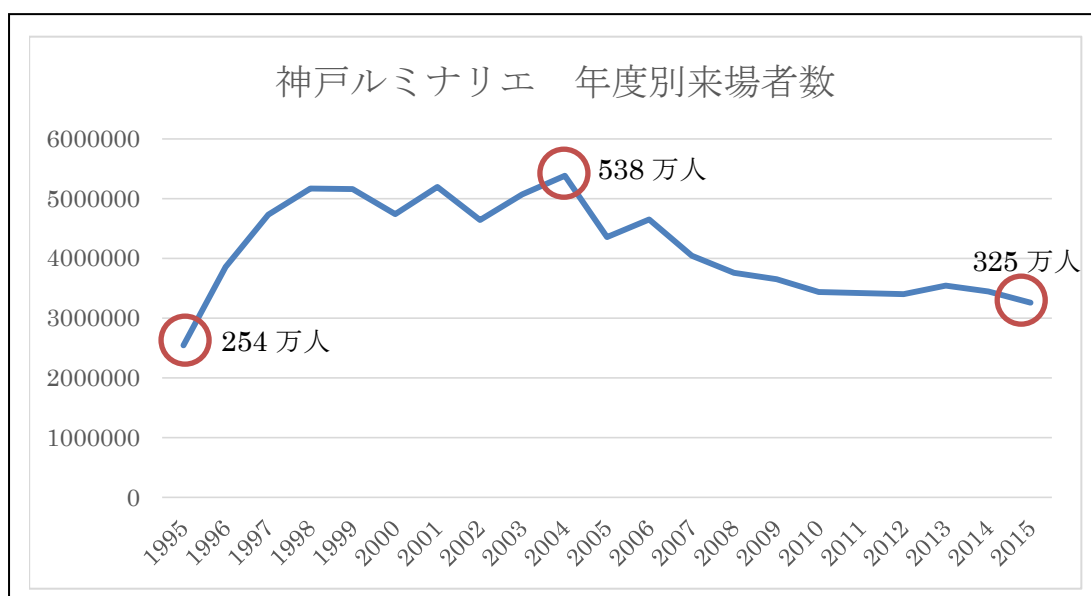
step2 開催期間を10日間から25日間に延長

step3 さらに三宮北側から加納町まで延長

step4 そして加納町から新神戸まで延長

step5 ロープウェイの終発を延長し、1000万ドルの夜景も楽しんでもらう

記者会見の詳しい内容は、<https://youtu.be/YxCs09dvhVI>



☒

<本件に関するお問い合わせ先>

神戸志民党 代表：榎野 孝人

Tel : 078-734-0407/ E-mail : info@kashino.net

神戸志民党 HP <http://www.kobe-shimin.jp/>